

## 3. いじめを許さない

どうしていじめが起きるのか、いじめを防ぐにはどうしたらよいかを家族で考えましょう。いじめの兆候に気づいていますか？

### いじめのサイン発見チェックリスト ~こんなことがあったら要注意~

- 起きてこない。布団からなかなか出てこない。
- 朝になると体の具合が悪いと言い、学校を休みたがる。
- 家からお金を持ち出したり、必要以上にお金を欲しがったりする。
- 表情が暗く、家族との会話も少なくなった。
- ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- 自分の部屋に閉じこもる時間がふえた。
- パソコンやスマホをいつも気にしている。
- 理由をはっきり言わないアザやキズアトがある。
- 寝つきが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- 学校で使う物や持ち物がなくなったり、こわれたりしている。

「いじめ」をしていませんか。

- 言葉づかいが荒くなる。言うことをきかない。人のことをばかにする。
- 買ったおぼえのない物を持っている。
- 与えたお金以上のものを持っている。おこづかいでは買えない物を持っている。

(千葉県教育委員会 保護者向けいじめ防止啓発リーフレットをもとに作成)

### ご家庭でも折にふれ、話し合いをしてみてください。

~自分も人も大切に思える子を育てるために心を育て、心をつなごう~

子供たちには、本当に「いじめは人間として恥ずべき行為である。」としっかり理解させましょう。「善悪の判断」「他人の痛みを感じる」「思いやり」などの心をしっかり育みましょう。

#### 《悪いことは悪いとしっかりしつけよう》

- やってはいけないことや間違っただ行いはしっかり正している。
- 子供に対して「自分の行動には責任がともなうこと」を話している。
- 自分の子供だけ良ければという考えはしていない。
- 思春期の子供から逃げずに正面から向かい合っている。
- どんな小さな変化でも、子供の言動を見逃さないように注意している。
- 身の回りの小さなことから、命や環境を大切にすることを育てている。
- 差別や偏見は許されないことを気づかせている。

#### 《思いやりのある子供を育てよう》

- 家庭で生活のきまりやルールをつくっている。
- 低学年から手伝いなどを行わせ、責任感や自立心を育てている。
- 朝の「おはよう」からはじめて、礼儀を身につけさせている。
- 子供に我慢を覚えさせている。  
→物の買い与えすぎは、子供の心をゆがめる。
- 家庭内の年中行事や催事を大切にしている。
- 祖父母を大切にする親の姿をみせている。
- 手助けの必要な人を思いやれるようにしている。
- 生き物とのふれあいを通じて、思いやりの気持ちを育てている。